

## 平成30年度 全国保健師長会近畿ブロック研修会報告

- 【テーマ】 「"みる、つなぐ、動かす"～保健師の原点から住民とともに創る未来～  
「地域に責任を持つ活動をともに考え、継承するために…」」
- 【日時】 平成30年8月26日(日)13時30分～16時30分
- 【場所】 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室BC
- 【参加者】 92名
- 【内容】
- ◆ 全国保健師長会挨拶・平成30年度活動方針説明  
全国保健師長会 会長 青柳玲子 氏
  - ◆ 研究報告「災害時の保健活動の活動推進に関する研究」  
報告者 相馬幸恵 氏
  - ◆ 講演・グループワーク  
「"みる、つなぐ、動かす"～保健師の原点から住民とともに創る未来～  
「地域に責任を持つ活動をともに考え、継承するために…」」  
講師 北海道大学 名誉教授 佐伯和子 氏

### 【研修会の様子】

◆ 会長から方針等伺い、また、保健師長会発足40周年記念DVDに感動を覚えました！



◆ 災害時の保健活動を深く考える機会となりました！



◆ 災害支援におけるDHEATと保健師長会の方向や整合性は？



◆ 佐伯先生の講演から、保健師活動の原点を考えることができ、先生から励ましのエールをいただきました！



◆ 自分たちの自治体で、地域に責任をもつ保健活動をすすめるためには、リーダーとして、どんな条件を整えることが必要か？  
みんなで語り合いました(^^)



### 【講演とグループワーク】

- ◆ 「政策レベルで健康を守る」には、責任や覚悟が必要。
- ◆ 日々の活動の振り返りや見せることを蓄積することで、保健師活動に確信や自信が生まれ、自分や人を育てることにつながる。
- ◆ 「みる、つなぐ、動かす」そして「みせる」の強化が必要。知っている人しか見えない「黒子」を見せることは、マネジメントをみせることになり、いかに見えない人に意図的に見せるかが大切ではないか。
- ◆ 自身の「保健師」として大切にしていることを言葉にし、大切なことは、言葉で後輩に伝えよう！
- ◆ いきいきと活動できる雰囲気や環境づくり、機運の醸成が大切である。
- ◆ 後輩たちと、一緒に議論し、一緒に動く、見せる等の丁寧な働きかけが必要。

(報告者: 近畿ブロック理事 田中 操)

kennsyuu